

物 理

共通項目

- ・誤字・脱字－1点。
- ・数学的に同等な解答であれば基本的に可。
- ・さらに約分や、平方できるものは、基本的に注意だけで減点なし。(減点する場合は、個別に指示します)
- ・複数の解答が存在するものは、基本的に可。(個別に指示します)
- ・ V や v 、 C や c など、大文字・小文字の区別は基本的には注意のみで減点なし。ただし、大文字と小文字の両方を使う解答の場合は減点。(減点の場合は個別に指示します)

物理問題Ⅰ

- そのままです。
- コ. $(\alpha+3)(\alpha-1)$ も可

物理問題Ⅱ

- 大文字・小文字 $v \rightarrow V$, $C \rightarrow c$, 注意して下さい。 可
- 又. $\alpha_2 \rightarrow \alpha$, $\alpha_2 \rightarrow a$ -1点
- 他はそのままです。

物理問題Ⅲ

- 有効ケタ数について

例 あ. $0.20 \rightarrow 0.2$

い. $0.10\sin\pi t \rightarrow 0.1\sin\pi t$ 注意のみで可

- π について

い. え. お. (π に値を代入してある答案)

$\pi \rightarrow 3$ 不可

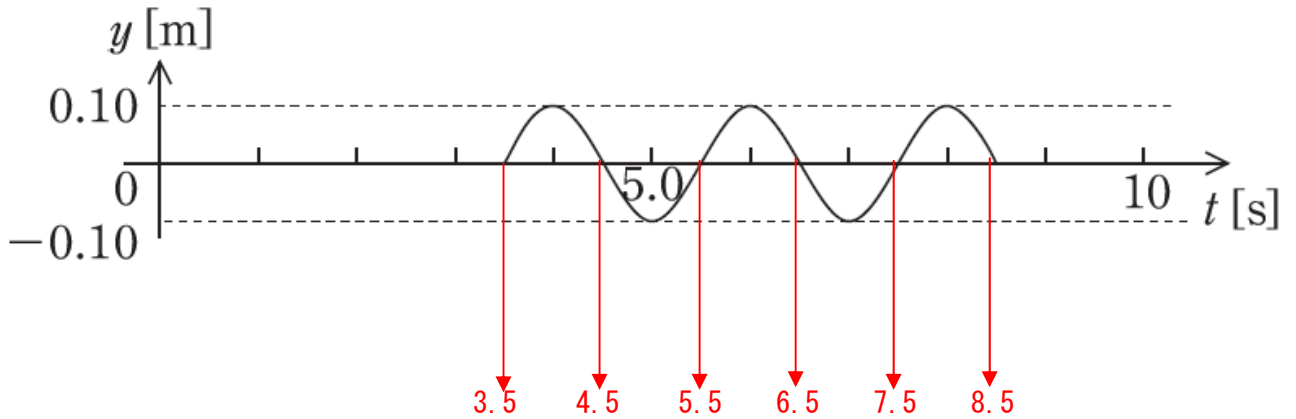
$\pi \rightarrow 3.1$ または 3.14 計算など合っている場合のみ可。他は不可。

- え. お. 次の形も可とする。

例 え. $0.10\sin 2\pi\left(\frac{t}{2.0} - \frac{x}{0.40}\right) = 0.10\sin \pi\left(1.0t - \frac{x}{0.20}\right) = 0.10\sin \pi(1.0t - 5.0x)$ など

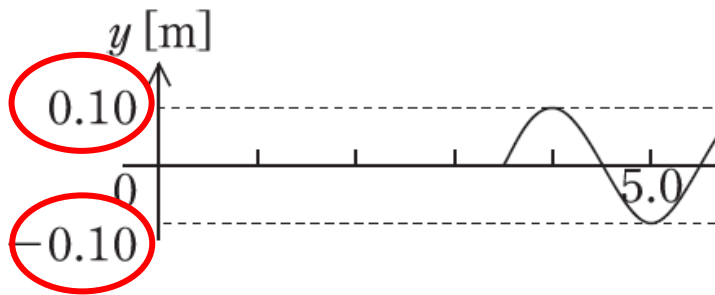
○か. グラフ

<① 横軸について>



値が違うもの -1点

<② 縦軸について>

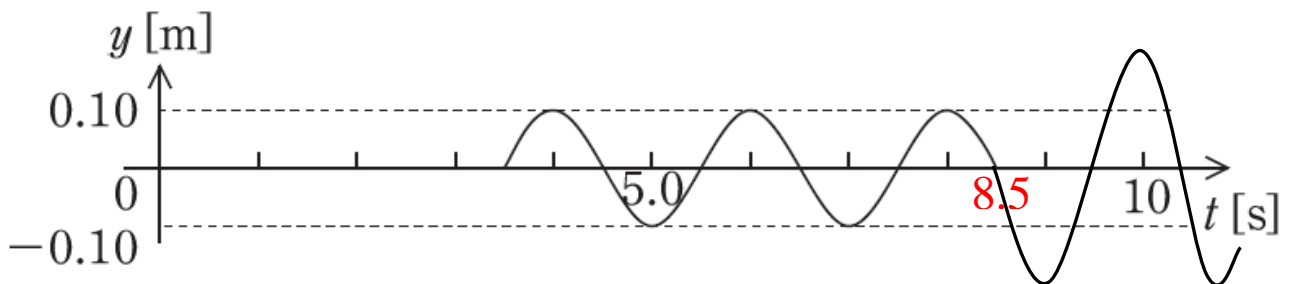


値が違うもの -1点

<③ 形について>

あまり正弦波になっていないもの -1点

<④ その他>



8.5秒以後, 振幅が2倍のもの -1点

①~④に減点法を適用して, 得点は3点(満点)から0点となります。

○さ. ~ つ. $\lambda = cT$, $T = \frac{\lambda}{c}$ としている解答も可。

例 さ. $\frac{ct-x}{\lambda}$, $\frac{ct-x}{cT}$ など

例 し. $\frac{ct+x-2L}{\lambda}$ など